

令和3年度「支援スタッフ説明会」 および「支援スタッフスキルアップ講座」 を開催しました。

5月22日（土曜日）に、午前9時30分から12時にかけて「支援スタッフ説明会」を、また、午後は、「支援スタッフスキルアップ講座」を20時にかけ荒神山自然の家にて開催しました。

これは毎年行っている事業で、ボランティアスタッフを募集し、スタッフの一員として自主事業の運営に協力いただけるよう組織化を図るとともに、スタッフ間や所員との交流の場として開催しているものです。

また、子どもたちが豊かな緑の中で自然に親しみ、みんなで仲良く活動するという自主事業の目的を達成するためにはスタッフがどのような資質を持ち合わせればよいかを共有することも含まれています。

午前中に開催した「支援スタッフ説明会」は、本年度の事業紹介に始まり、スタッフの



登録に必要な手続きおよび、内容説明と書類作成、館内や敷地内の施設案内などという流れで行いました。

4名の方が新規に登録され、そのうち3名の方に参加いただけました。

自然の家に来られて、具体的に支援スタッフの役割がわかっていくうちに意欲も高まり、待ち遠しさを感じてお

られるようでした。

これで、総勢スタッフは16名となりました。今年度はこのメンバーで活動を推進していきますが、支援スタッフは随時募集をしております。まだまだ、支援していただける方がスタッフ登録されることを切に願っております。

昼は食堂のカレー定食で舌鼓を打った後、午後からは、「支援スタッフスキルアップ講座」と銘打ち、野外活動技術の向上とスタッフ間の交流を図ることを目的として開催しました。

まずは、テントの設営です。野外活動にはテント泊があり、いかにスムーズに、また的確にテントを組み立てることができるかという課題があります。近頃は、簡易テントや要領よく立てることができるテントがありますが、自然の家にあるテントは、オーソドックスなタイプでグラウンドシート（インナーテント）とフライシートを使って組み立てるものです。前日はかなりの降水があり、



当日は天候も怪しく地面もぬかるんでいるので集会室にて、2グループに分かれて、説明を受けた後実習を行いました。実際にポールを持って湾曲させると意外に弾力があつたり、



ある程度力が必要であつたりとすこし戸惑い気味ではあつたものの、無事テントを設営する要領もわかり、次は説明する側に移っても自信を持って指導することができるようになりました。

その後、天気も回復してきたので、施設にあるハイエレメントでスタッフ間の絆を深めました。使用したエレメントは、キャッツウォーク、ムササビスイング。個人でどちらをするか選択し、チャレンジしました。普段どんなことをするのだろうと眺めていた設備だけに、実際活動

を行ってみると、その意外性に驚くとともに安心感や達成感など様々な感情がこみ上げてきたようです。スタッフの方も体験をしたことで、ハイエレメントに関する質問には、ある程度答えることができるのではないのでしょうか。



その後、野外炊事にはつきものの火起こし実習です。火は育てるものという考え方で、徐々に大きくしていくその実演に取り組みました。午後の最後は、テントの撤営です。撤営とは、張ってあるテントを整然と片付けること。それぞれのパーツごとにきちんと片付け袋に封入します。特に、フライシートはたたみ込む際に、中に空気を閉じ込めないように要領よくたたみ込まないといけな

いので大変です。

無事たたみ終えて、夕食となりました。本来であれば、野外炊事をしてという流れなの

ですが、昨今の社会情勢の中で実施するのは、難しいのではないかと考え、食堂食に切り替えました。火起こし実習をしてそのスキルを実際に試してみたかったのですが、今回ばかりは延期せざるを得ませんでした。

夜の活動は、たき火実習。スウェーディッシュトーチとかがり火。どちらも新しく導入するアクティビティで、その準備から実動・後始末と一連の流れとともに、危険性の認識や安全確保の方法などを確認しました。かがり火では、稼動時間は短かったもの



の針葉樹と広葉樹の違いや燃え広がり方に違いがあることにも気づけました。特に、かがり火台に運び込む際にはかなり燃えついてからでない



と台上では燃えないことに驚きがありました。その幻想的な雰囲気と風景に今後につながる何かをつかむことができました。

当初の計画では、1泊2日にわたり実施する計画でしたが、今回は、急遽日帰りに切り替え実施しました。行った内容を基盤として活動支援スタッフのスキルが向上するとともに、自主事業の運営に参画していただくことができるよう今後も随時、取り組んでいきたいと考えています。